

「トンボはどこまで飛ぶか2013本調査」に参加

7月29日(月)～31日(水) JFEトンボみちで実施

今年も「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」が行うトンボ捕獲調査が、7月29日(月)から8月4日(日)までの一週間、鶴見区と神奈川区の京浜臨海部に点在する緑地やビオトープで行なわれました。JFEトンボみちで行われた調査日は天候は良くありませんでしたが、JFEトンボみちでは**5種類、29頭**を捕獲しマーキングした後に放ちました。

調査活動中、「FMヨコハマ」街角レポーターの藤田氏が訪れて、ラジオの生放送で「トンボはどこまで飛ぶか2013」の紹介をしてくれました。すると、放送中に多くのリスナーの方々が訪ねてきて、JFEトンボみちを知っていただく良い機会になりました。



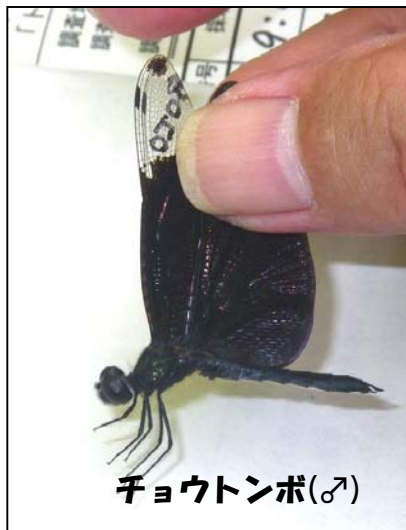
リスナーの方が藤田レポーターと記念撮影(7月29日)



3日間共に雨模様でトンボが来るのをジッと待つ時間が多かったです。(31日の様子)

ファンクラブの方も応援に来てくれました

調査実績(3日間で)	今年	昨年
シオカラトンボ	6頭	43頭
ショウジョウトンボ	15頭	20頭
ウスバキトンボ	3頭	5頭
マルタンヤンマ	0頭	1頭
オオシオカラトンボ	0頭	1頭
ギンヤンマ	2頭	1頭
チョウトンボ	3頭	1頭
トンボみちで 合計	29頭	72頭



チョウトンボ(♂)



ウスバキトンボ(♂)



ギンヤンマ(♀)

捕獲した
トンボの紹介



ショウジョウトンボ(♂)



シオカラトンボ(♂)

トンボみちなんでも調査隊

皆さんの「？」を調査します。調査した結果を報告します。
皆さんの「？」を事務局へお寄せ下さい。

鶴見区の海岸線埋立について …… 汐入公園の北側入口にある掲示を紹介します。



汐入公園北側入口より産業道路方面を臨む



転記:相馬

鶴見区の海岸線埋め立てについて
わが国有数の工業地帯である京浜工業地帯は、浅瀬で水運が不便であった京浜間の貨物輸送を容易にするため運河を開きその土砂で埋立て、工場を招致し工業の振興を図ることで進められた。
明治四十年代に入り、かねてこの地帯に着目していた浅野総一郎が、山形要助工學博士の設計に基づき、橋樹郡田島村(川崎市)からその西に接する同郡町田村潮田地先(横浜市鶴見区)にいたる約五百ヘクタール(百五十万坪)を工業用地として埋立てる出願をし、大正二年、県の免許を得た。
町田村潮田地先約二十三ヘクタール(七万坪)の工業地は大正四年に竣工し、その一部に大工場が進出した。 つづいて同氏は、生身尾村大字生麦の地先の埋立工事を開始し、造成了な部分から工場を建築する方法で、**造船所及び製鉄所とを完成、敷地はあわせて九十二ヘクタール(二十八万坪)に達した。**
このように横浜港より品川方面にいたる臨海部の埋立てにより京浜工業地帯は造成されたのである。
昭和四十八年十一月 横浜市観光協会

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

7月27日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田裕子さん)



マイガーデンの草取り



カボチャの収穫



収穫した野菜

今回も捕れた野菜で舌鼓



メロンの収穫



チョウトンボ



ウスバキトンボ



ファンクラブのみなさん

これからの活動予定です。雨天は1週間延期
 今月：8月24日(土) 7時～ 9時
 来月：9月28日(土) 7時～ 9時
 事前の申込みはいりません。誰でも参加可能。

発行日: 2013年 8月21日
 発行者: トンボみちファンクラブ事務局
 事務局: 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
 JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室
 Tel045-505-7447, Fax045-505-6546
 ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



東京の森ロゴマーク